

第 11 章 人口の高齢化と経済活力

1. 少子化の現状

(1) 出生率が人口維持ラインを大きく下回る状態続く

1) 合計特殊出生率()の意味

合計特殊出生率：1 人の女性が再生産年齢 = 15 ~ 49 歳 = を経過する間に子供を産んだとした場合の平均出生児数を指す

2) 相次ぎ発生する「20 × × 問題」

「2000 年問題」コンピュータの誤作動が懸念された

「2003 年問題」オフィス過剰

「2009 年問題」18 歳人口の減少で「大学全員入学（全入）」が予想される

「2010 年問題」() 世代の退職・人口減少・高齢化

東京 23 区のオフィス需要純減のリスクが高まる

(2) 少子化を促すもの

() 化・() 化現象の進行

晩婚化の進行は交際期間の延長と平行に

学歴が高いほど出会いも結婚も遅い

夫婦の年齢差が縮小している

合計結婚出生率が 2.0 を割り込む

2. 移民受け入れにはプラス・マイナスが

(1) 法規制に乗り出した移民受け入れ先進国ドイツ

ドイツには現在、730 万人の外国人居住者

2003 年 1 月 移民法（外国人の移民受け入れを法的に制度化）

(2) 日本の本格的な門戸開放の前に法の整備を

雇用、治安の問題

「外国人雇用法」的な法整備が不可欠

3. ライフコースの多様化こそ社会的活力向上の決め手

(1) 就業者に占める女性比率は4割をキープ

()字型労働力率

「仕事と家庭の両立」の難しさを示す。

cf. 篠田節子「女たちのジハード」集英社文庫

GEM(ジェンダー・エンパワーメント測定) 70カ国中44位

女性の活用が重要

4. ニート、団魂世代をどう考える

(1) 「働かない若者」問題の本質

() : 働いているわけでも学んでいるわけでもない、職業訓練を受けているわけでもない若者を呼ぶ

フリーターとニートの区別

(2) ()世代の定年退職がもたらすもの

()世代(第1次ベビーブーム世代:1947~49年生まれ)

2010年問題のプラス効果

)企業収益改善の好機

)退職後、年金支給開始時期までの期間をいかに乗り切るか(マイナス効果)

)金融機関では退職金の運用機会が増える

5. 自立した高齢者層の拡大とビジネスチャンス

(1) 世界に例を見ない高齢化の現状と見通し

高齢化率 = 65歳以上の人口比率 2003年 19.0%

2050年 ()%

国民の約3人に1人が65歳以上という本格的な高齢社会入りが見込まれる

(2) 高齢者が労働市場にとどまれる仕組みづくりを

「人生経験が豊かで、数々の難局を乗り越えてきたベテラン集団」と定義し直すことが重要。

- ・社会人大学
- ・高齢者はデパート業界が生き残れる最後のマーケット

キーワード

合計特殊出生率 晩婚化・未婚化 外国人雇用法 女子労働力
低・中・高位推計 年少人口 生産年齢人口 老年人口 M字型労働力率
潜在的な労働力 ニート フリーター 団魂世代 ライフサイクル仮説